

令和3年度 こまタク(こまがねデマンド型乗合タクシー)運行実績

(1)純利用実績(令和4年1月31日現在)

① 男女別 (人)

	R02	R03	割合
男	51	51	23%
女	182	170	77%
計	233	221	100%

※R02年度対比:▲12人

② 年齢別 (人)

	R02	R03	割合
～59歳	16	11	5%
60～69歳	8	11	5%
70～79歳	50	42	19%
80～89歳	129	127	57%
90歳～	30	30	14%
計	233	221	100%

※2022.1.1時点の年齢で算出

③ エリア別 (人)

エリア	R02	R03	割合
ア	37	35	16%
イ	23	21	10%
ウ	27	27	12%
エ	73	68	31%
オ	73	70	32%
計	233	221	100%

< まとめ >

- ①・女性の利用者が約80%
 ・割合:前年度から大きな変化はなし
 ・純利用者数:対前年比▲12人
- ②・70歳以上の利用者が約90%
 ・割合:前年度から大きな変化はなし
- ③・全エリアで減少傾向
 ・割合:前年度から大きな変化はなし

(2)利用実績(令和4年1月31日現在)

【A】利用登録者数 (人)

エリア	H30 3月	H31 3月	R01 3月	R03 3月	R04 1月
ア	258	264	267	266	271
イ	124	139	146	157	163
ウ	154	162	176	188	198
エ	374	415	455	483	502
オ	438	503	543	582	597
計	1,348	1,483	1,587	1,676	1,731

※R3年3月対比:＋55人

【B】純利用者数 月平均 (人)

	H29	H30	R01	R02	R03
計	143	152	143	119	117

※R02年度対比:▲2人

【C】総利用者数 月平均 (人)

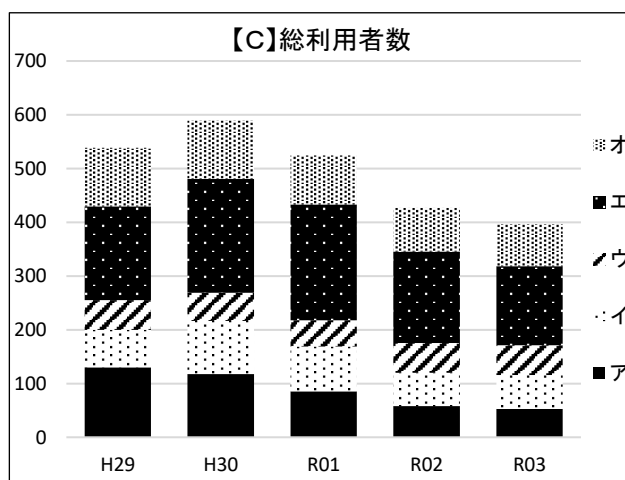
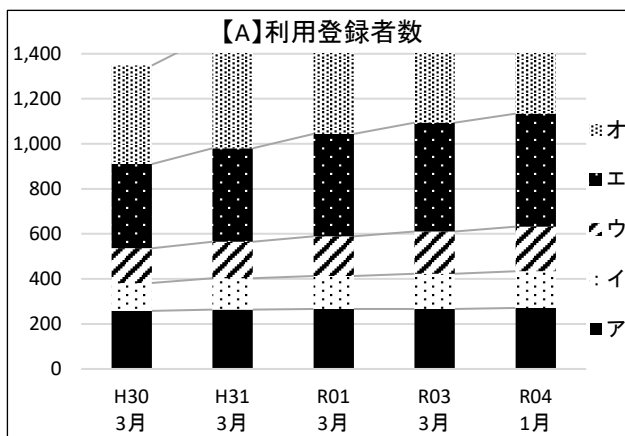
エリア	H29	H30	R01	R02	R03
ア	130	118	86	58	53
イ	70	99	83	62	63
ウ	55	52	49	55	55
エ	175	212	215	170	147
オ	109	109	92	81	78
計	539	589	524	427	396

※R02年度対比:▲31人

【D】1便当たり平均乗車人数

エリア	H29	H30	R01	R02	R03
ア					
イ	2.3	2.5	2.1	1.6	1.6
ウ					
エ	2.3	2.3	2.3	1.9	1.7
オ					
平均	2.3	2.4	2.2	1.8	1.7

※R02年度対比:▲0.1人



【E】各停留所の利用状況

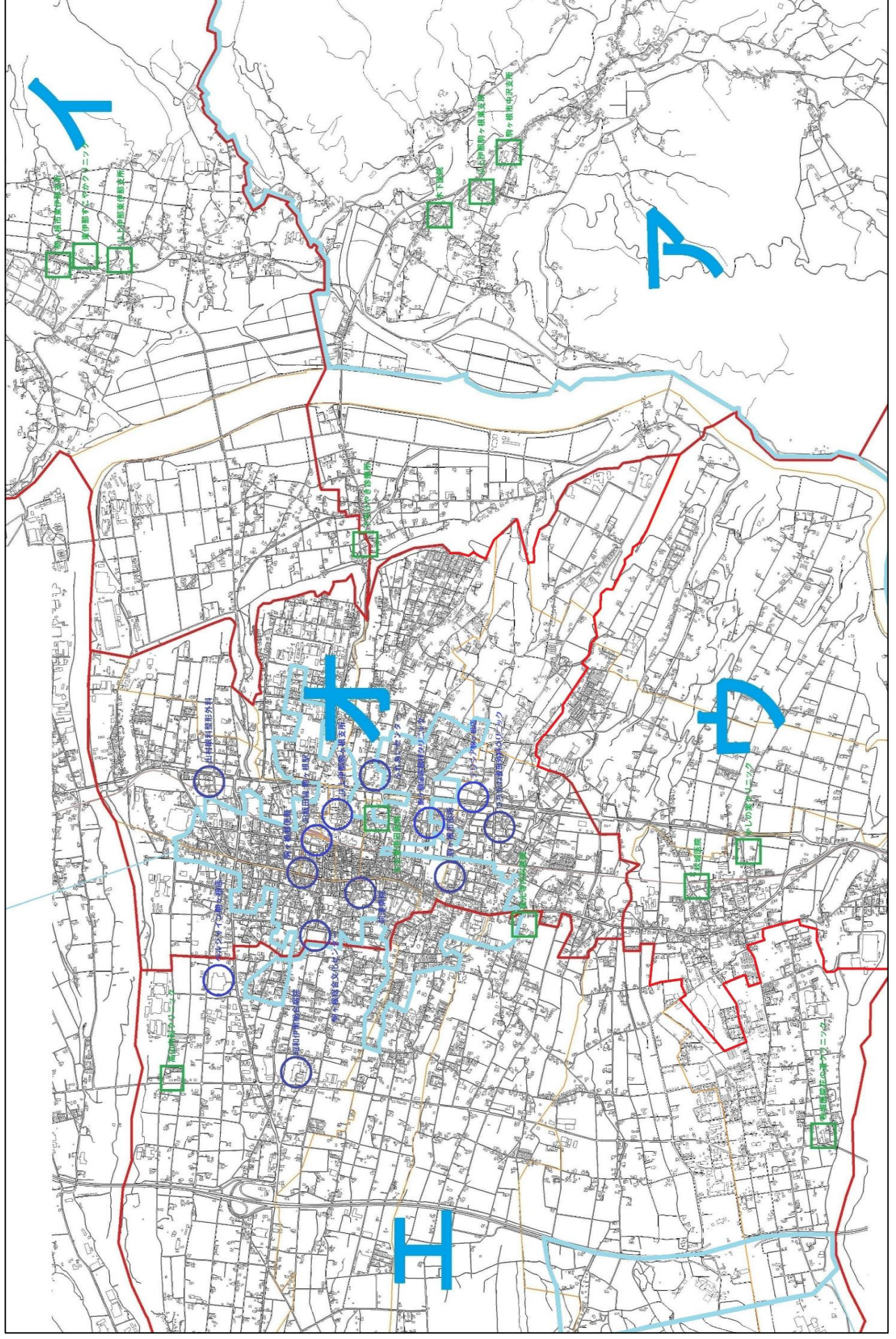
共通停留所	停留所名	利用者数
	昭和病院	702
	前澤病院	241
	山村眼科整形	1,160
	つちかね整形	182
	JR駒ヶ根駅	297
	郵便局	88
	市役所	100
	文化C	227
	ふれあいC	9
	JA駒ヶ根	273
	ベルシャイン	406
	デリシア駒ヶ根店	136
	駒ヶ根泌尿器科CL	22
エリア限定停留所	利用状況	利用者数
	ア 木下医院	30
	アイ けやき診療所	0
	ア JA駒ヶ根東	0
	ア 中沢支所	0
	イ すこやかCL	10
	イ JA東伊那	9
	イ 東伊那支所	0
	ウエ 秋城医院	14
	ウエ かしの実CL	8
	エ 花の道CL	0
	エ 高山内科CL	14
	エ 座光寺内科CL	0
	オ 須田医院	15

< まとめ >

- 【A】利用登録者数:新規登録者は89名(対前年比＋55人)
- 【B】純利用者数(月平均):対前年比▲2人
- 【C】総利用者数(月平均):対前年比▲31人
- 【D】1便当たりの平均乗車人数:対前年比▲0.1人
- 【E】共通停留所(TOP3):①山村眼科整形 ②昭和病院 ③ベルシャイン
 エリア限定停留所(TOP3):①木下医院 ②須田医院 ③秋城医院、高山内

【こまタク】

- 運行 平日毎日運行（お盆・年末年始除く）、4便/日（往路1便 8:00、往路2便 10:00、復路1便 12:00、復路2便 14:00）の運行
- 停留所 予約により、往路は「自宅から停留所」、復路は「停留所から自宅」へ、乗合による送迎



運転免許証自主返納支援事業実績（令和 4 年 1 月 31 日現在）

(1) 事業目的

高齢者等による交通事故の減少を図るとともに、公共交通機関の利用を促進するため、運転免許証の自主返納の推進を支援するもの。（平成 29 年度事業開始）

(2) 事業概要

＜対象者＞

- ① 駒ヶ根市内に住民登録されている人
- ② 運転免許証の全てを自主返納した人

＜支援内容＞

こまタク乗車券 1 万円分（400 円/回×25 回分）

(3) 支援状況

【A】男女別

性別	R01	R02	R03	割合
男性	46	35	25	38%
女性	56	38	41	62%
計	102	73	66	100%

【B】エリア別

地区エリア		R01	R02	R03	割合
ア	中沢区	10	5	5	8%
	下平区（第1・3・4・5・6・11・12）				
イ	東伊那区	10	8	10	15%
	下平区（第7・8・9・10・14）				
ウ	市場割区（宮の前・美里を除く）	5	5	5	8%
	上赤須区、中沢区吉瀬				
エ	福岡区、北割1区・2区	39	20	22	33%
	中割区、南割区				
オ	町1・2・3・4区、市場割区宮の前・美里	38	35	24	36%
	上穂町区、小町屋区、下平区第2・13				
計		102	73	66	100%

【C】年齢別

年齢層	R01	R02	R03	割合
～49歳	0	0	1	2%
50～59歳	0	0	0	0%
60～69歳	0	5	2	3%
70～79歳	27	17	17	26%
80～89歳	63	41	39	59%
90歳～	12	10	7	11%
計	102	73	66	100%

【D】返納後の利用状況

利用状況	R01			R02			R03		
	交付者数	実利用	割合	交付者数	実利用	割合	交付者数	実利用	割合
登録済・利用経験有	4	2	50%	6	3	50%	4	1	25%
登録済・利用経験無	10	5	50%	4	2	50%	10	5	50%
未登録	62	10	16%	63	12	19%	52	4	8%
計	76	17	22%	73	17	23%	66	10	15%

令和4年度 駒ヶ根市地域公共交通協議会 事業計画（案）

1 「こまがねデマンド型乗合タクシー（こまタク）」の運行

- 平日毎日運行の継続
- 運行システムの検証と関連した運行形態の検討

2 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の活用

- 生活交通確保維持改善計画策定・認定申請（6月）
- 補助金交付申請（11月）
- 事業評価実施（12月）

3 駒ヶ根市地域公共交通計画の推進

- 当市の実情に合った公共交通ネットワークを構築するために、新たな公共交通技術の研究を進め「こまタク運行システム」「山麓周遊システム」「市街地巡回システム」への活用の検証を行う。
- 「山麓周遊システム」及び「市街地巡回システム」の検討を進め、実証事業を行う。
- 既存の交通資源活用の検証を進める。
- 既存の公共交通施策の周知を積極的に図る。

4 公共交通利用促進事業

- こまタク事業の広報周知、利用促進
- ロープウェイ線バスの利用促進
- 高速バスの利用促進
- JR 飯田線の利用促進
- 運転免許証自主返納支援事業

5 その他公共交通事業

- バス部会（ロープウェイ線バスの利用促進）
- タクシー部会（こまタクの効果検証と改善）
- 交通不便者支援事業（通学困難世帯に対する補助事業の検討等）
- 長野県公共交通活性化協議会上伊那地域別部会等を通じた広域な情報交換

※ スケジュール案

実施項目		4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
1	こまタクの運行				
2	地域内フィーダー系統確保維持費 国庫補助金の活用	6 月 改善計画策定 認定申請		11 月 交付申請	12 月 事業評価
3	地域公共交通計画の推進				
4	公共交通利用促進事業				
5	その他公共交通事業				
6	協議会開催	■		■	■

令和4年度 駒ヶ根市地域公共交通協議会 予算（案）

（令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日 ）

1 歳 入

（単位：円）

項 目	R4予算額	R3予算額	増減額	内 容
1 負担金	38,462,000	32,300,000	6,162,000	
1 市負担金	38,462,000	32,300,000	6,162,000	■駒ヶ根市負担金 38,462,000
2 繰越金	0	0	0	
1 繰越金	0	0	0	
3 預金利子	0	0	0	
1 預金利子	0	0	0	
4 雑入	5,000,000	5,000,000	0	
1 雑入	5,000,000	5,000,000	0	■地域内フィードー系統確保維持費国庫補助金 5,000,000
歳入合計	43,462,000	37,300,000	6,162,000	

2 歳 出

（単位：円）

項 目	R4予算額	R3予算額	増減額	内 容
1 総務費	5,250,000	5,250,000	0	
1 会議費	230,000	230,000	0	■協議会委員報酬 230,000
2 事務費	5,020,000	5,020,000	0	■国庫補助金相当額支払（駒ヶ根市） 5,000,000 ■事務費 20,000
2 事業費	38,212,000	32,050,000	6,162,000	
1 事業推進費	38,212,000	32,050,000	6,162,000	■デマンド交通運行委託費（※1） 23,800,000 ■デマンド交通受付業務補助金 4,200,000 ■デマンド交通専用車両管理費 550,000 ■地域公共交通計画推進事業費 1,100,000 ■次世代運行システム運用費（※2） 4,728,000 ■環境配慮型モビリティ実証実験費（※2） 3,834,000
3 予備費	0	0	0	
1 予備費	0	0	0	
歳出合計	43,462,000	37,300,000	6,162,000	

※1運行委託費 = 運行経費 - 運賃収入

※2地方創生臨時交付金活用事業

令和 4 年度上半期 デマンド交通運行業務委託業者（案）

1 業務名称

- （１）令和 4 年度上半期 デマンド交通運行業務委託（「ア・イ・ウ」エリア）
- （２）令和 4 年度上半期 デマンド交通運行業務委託（「エ・オ」エリア）

2 業務内容

予約受付による運行、運賃収受、業務報告、その他運行に係る一切の管理業務

3 委託業者

- （１）中沢区、東伊那区、下平区（第 2・13 自治組合除く）、
市場割区（宮の前・美里自治組合除く）、上赤須区の 3 エリア
所在地 駒ヶ根市中央 4 番 5 号
名 称 伊南乗用自動車有限会社
- （２）北割 1 区、北割 2 区、中割区、南割区、福岡区、
町 1 区、町 2 区、町 3 区、町 4 区、上穂町区、小町屋区、
下平区第 2・13 自治組合、市場割区宮の前・美里自治組合の 2 エリア
所在地 駒ヶ根市北町 2 8 番 2 4 号
名 称 赤穂タクシー有限会社

4 随意契約理由

デマンド交通の運行には、道路運送法の規定による許可等の法的手続きが整った車両が必要であり、1 便当たりの乗車人数を上記 3（１）エリアは最大 1 8 名分、同（２）は最大 1 2 名分確保できる車両台数が必要となる。市内で運行できる業者は、上記 2 業者に限られ、円滑な事業推進、安全性の確保、時間的経済性の観点から、この 2 業者との契約が最適と考えられる。

上記理由から、本業務を円滑に実施するため、上記 3 に示すものと随意契約を行いたい。

【適用法令等】

地方自治法 第 2 3 4 条第 2 項
地方自治法施行令 第 1 6 7 条の 2 第 2 項
駒ヶ根市財務規則 第 1 1 9 条、第 1 1 9 条の 2

5 契約方法及び契約額

- （１）契約方法及び契約額の決定は、駒ヶ根市財務規則に準じて行う。
- （２）委託期間は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 9 月 3 0 日までとする。

公共交通をもっと身近に!!
のりものの体験

実施報告書



2612

CHUO ALPS SENJOJIKI

中央アルプス観光株式会社

実施概要・実施実績

実施概要

- イベント名称 公共交通をもっと身近に!!のりものの体験
- 開催日程 令和3年7月3日(土) 7月4日(日)
- 開催時間 10:00～16:00
- 開催場所 ベルシャイン駒ヶ根店 入口広場
- 実施内容 バス・タクシー展示・乗車体験
ロープウェイバーチャルツアー
ガラガラ抽選会
免許返納相談コーナー
オリジナルグッズ販売等
- 主催・共催 中央アルプス観光株式会社
伊那バス株式会社
駒ヶ根市地域公共交通協議会
- 協力 駒ヶ根ソースかつ丼会
伊南乗用自動車有限会社
赤穂タクシー有限会社
株式会社ニシザワ
駒ヶ根警察署

実施実績

■ 来場者数（延べ抽選会数）

	7月3日(土)	7月4日(日)
来場者数	約1,000名	約600名

■ その他コンテンツ

	7月3日(土)	7月4日(日)
タクシー・パトカー	約200名	約50名
バーチャルツアー	約30名	約30名
グッズ販売等	約100名	約100名

※その他コンテンツは実施者のカウンターでの計測による

会場概要・配置

会場全体

- ベルシャイン駒ケ根店
- 正面入り口前広場

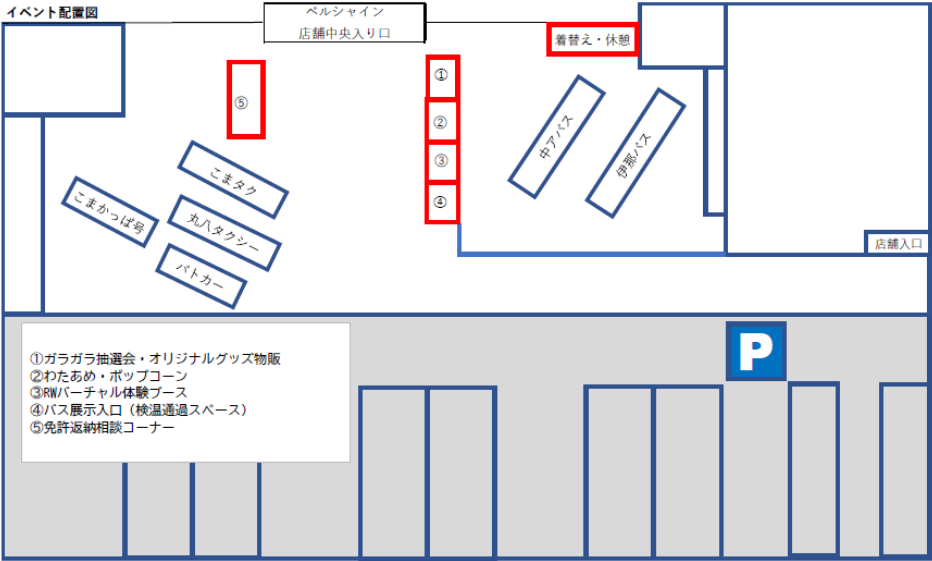


- 正面左側 小型車
- 正面右側 大型車
- 正面通路 テントブース



会場レイアウト

- ①抽選会
- ②飲食販売
- ③バーチャル
- ④消毒入口
- ⑤免許返納
グッズ販売



会場(記録写真)

記録写真

小型車コーナー



大型車コーナー



バーチャルツアー



ガラガラ抽選会



消毒・検温ゲート



キャラクター登場



換気体験



グッズ販売



イベント運営

プログラム

■天候及び集客状況で若干の時間の前後があり。

公共交通を身近に!!のりもの体験♪タイムテーブル

時間	ロープウェイ パッチャル体験	バス換気体験	キャラクター登場	抽選会	車内 記念撮影	物販 飲食	免許 相談
9:00	準備時間（集合時間 現地9:00 現地打合せ9:45より）						
9:30							
10:00							
10:30				終日実施			
11:00			こまかっぱ登場				
11:30		1回目					
12:00		2回目					
	1回目		こまぶう登場				
12:30	2回目						
13:00							
13:30			こまかっぱ登場				
14:00		3回目					
		4回目					
14:30	3回目						
	4回目						
15:00			ぶた&かっぱ登場				
15:30							
16:00	片付け						
16:30							
17:00							

広報宣伝

■A4 チラシ制作（13,000枚）

A4チラシは当初実施日より前に制作・配布の予定であったが、コロナ感染レベル5の引き上げによって日程が変更になったため、制作のし直しにより、6,500枚×2回の印刷となった。



■中アホームページ

実施に合わせて特別ページを制作。

■6月24日公開

■PV数 543



■その他宣伝

みなこい小中学校・保育施設へ6,000部のチラシ配布。

広報宣伝細目	詳細	掲載日等
保育園・幼稚園・学校配布	市内各行政関連施設へのチラシ配布5,500枚	6月下旬
市報こまがね掲載	市内各所配布物としての協力をお願い	5月20日
駒ヶ根市SNS媒体・メール広報の使用	市での広報媒体の使用	
月刊かみいな広告	月刊かみいなでの広告掲載	6月24日
中ア観光HP・SNS媒体の使用	FB・LINE・メルマガ等約30,000フォロワーへの宣伝	5/28or6/4
バス協会への情報提供	長野県バス協会への情報提供での会報誌へ掲載	

3.2.5 長野県駒ヶ根市における実証調査

実証地域	中央アルプス山麓エリア
事業名称	中央アルプス国定公園の山麓に点在する観光拠点を周遊する環境配慮型観光モビリティ実証実験

1) 地域課題と解決に向けた方向性

地域が作成した実施計画書等をもとに、実証調査の実施の背景となる地域課題とその解決に向けた方向性を以下に整理する。

【地域が抱える交通課題】

- ・実証地域とする「中央アルプス山麓エリア」は、ロープウェイ利用の基地となっており、観光拠点（温泉、名刹、公園、キャンプ場など）が点在している。
- ・この山麓エリアへの2次交通でのアクセスは、タクシーを除けば、1次交通との結節点である、JR飯田線駒ヶ根駅もしくは高速バス停から乗り換えで利用する「駒ヶ岳ロープウェイ線バス」のみである。
- ・「駒ヶ岳ロープウェイ線バス」は、ロープウェイに結節するためのバス路線であるため、山麓エリアを通過はするものの、周遊には対応していない。よって、山麓エリアの観光をしたくても、観光資源間が離れている上に、高低差があるため、徒歩での移動も困難なことから、「菅の台バスセンター」の徒歩圏内に限られている。
- ・これが観光地としての魅力向上や経済循環の足かせになっている。

【課題解決に向けた方向性】

- ・実証地域とする「中央アルプス山麓エリア」に点在する観光拠点を面的にカバーする新しい交通システム（周遊システム）の導入

【課題解決に向けたグリーンスローモビリティの優位性】

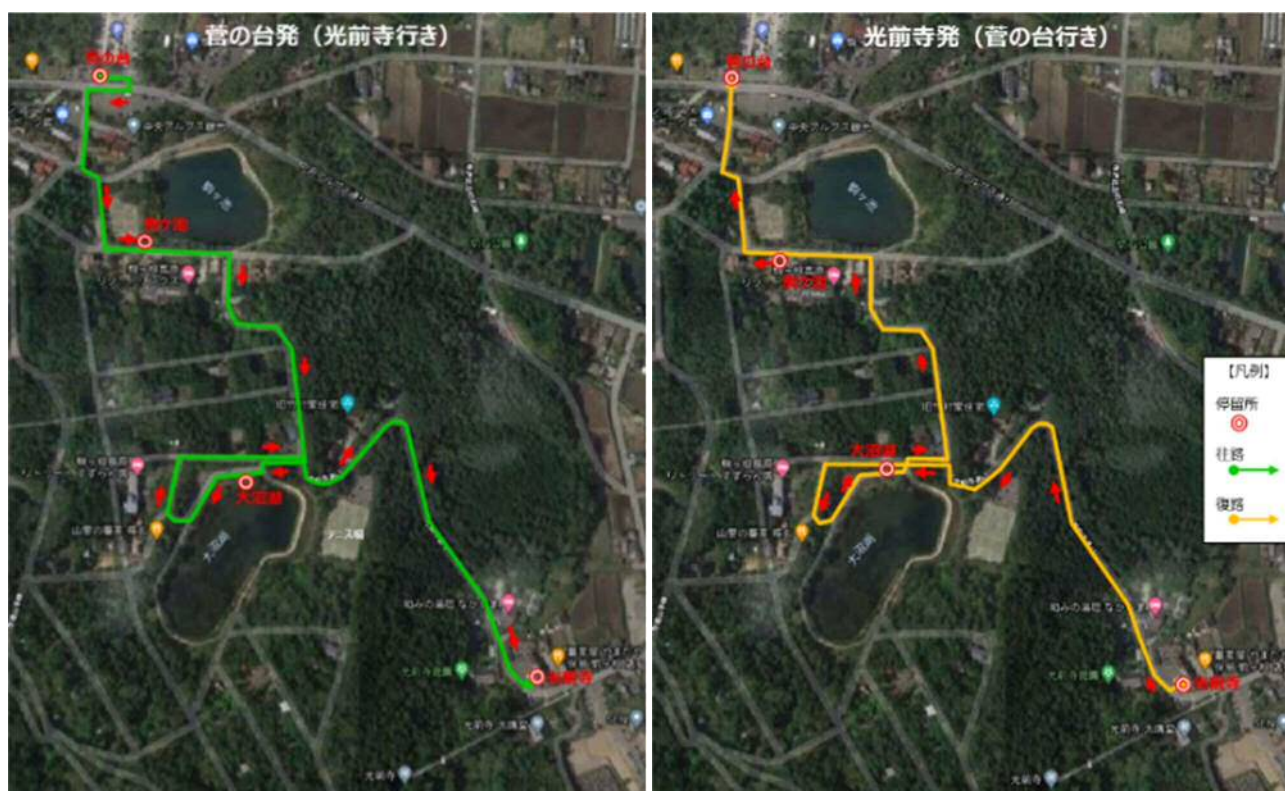
- ・「中央アルプス山麓エリア」は、豊かな自然環境を楽しむ観光地であるため、静音・低速度で歩行者にも優しく、CO2削減を含めて環境負荷の少ない公共交通機関の導入が有効と考えられる。
- ・グリーンスローモビリティは、自然を楽しみながらゆっくりと移動できるうえに、自然環境負荷が小さく、勾配のある箇所の運行も可能であるため、今回の用途に最適と考えられる。

2) 実証調査の概要

実証調査の実施概要を以下に整理する。

表 実証調査の実施概要（長野県駒ヶ根市）

実施概要	実施期間	・ 令和3年10月21日（木）～11月3日（水）（14日間運行）
	運行ルート	・ 菅の台～光前寺（片道1.9km）
	運行形態	・ 定時定路線運行（事前予約制。空きがあれば乗車可）
	運行本数	・ 16便/日
	運行時間帯	・ 12：05～16：31
	運転手	・ 伊南乗用自動（有） ・ 赤穂タクシー（有）
	車庫	・ 中央アルプス観光（株）の車庫
	使用車両	・ TAJIMA NAO（10人乗り）：1台
役割分担	自治体	・ 駒ヶ根市【実証調査責任者、関係各所との調整、運行管理】
	地域組織	・ 地元区・自治組合【地域住民に関する情報提供】
	観光協会	・ 観光客に関する情報提供
	運行事業者	・ タクシー事業者2社【運転、広報支援】 ・ 2次交通運行事業者2社 【ロープウェイ線バスとの結節・駐停車場所調整、広報支援】



▲運行ルート

3) 実証調査の様子



4) 広報・利用促進策の状況

実証調査の周知並びに利用者確保のため、地域が実施した広報・利用促進等を以下に整理する。

【地域が実施した広報・利用促進策等】

- ・告知チラシ配布（一般、観光客向け）
- ・ロープウェイ線バス車内へのポスター掲示

グリーンスローモビリティ
電気でゆっくり走るバス
無料 要予約

10/21木 - 11/3水
毎日運行 12:05~16:31 (予約数は変動あり)

菅の台 駒ヶ池 大沼湖 光前寺
約15分 16便/日

菅の台と光前寺の折り返し運行
最速便は約15分 (予約なし) には乗車できません

7910 (グリーンスローモビリティ) とは？
20km/h未満で公道を走る電動車両
今回使用する車両は、屋根が2名用
ポカポカ→遮熱で涼しいので、
外気導入型エアコンもあり、ウレシナ
時代の安心な移動を実現する車です

●乗車定員 8名/便
乗客で乗車できない場合があります

●乗車方法 無料・要予約 (予約)

詳細・予約
予約サイト <https://cubic.com/gsmk>

感染症拡大防止に
ご協力ください

【お問い合わせ】 駒ヶ根市地域公共交通協議会 0265-83-2111

運行ルートと時刻表

菅の台発 (光前寺行き) 光前寺発 (菅の台行き)

【予約】

行先	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便	14便	15便	16便
菅の台	12:05	12:35	13:05	13:35	14:35	15:05	15:35	16:05								
光前寺	12:20	12:50	13:20	13:50	14:50	15:20	15:50	16:20								

【予約】

行先	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便	14便	15便	16便
光前寺	12:05	12:35	13:05	13:35	14:35	15:05	15:35	16:05								
菅の台	12:20	12:50	13:20	13:50	14:50	15:20	15:50	16:20								

停留所
菅の台 駒ヶ池 大沼湖 光前寺

【お問い合わせ】 駒ヶ根市地域公共交通協議会 0265-83-2111

▲ チラシ（一般向け）

紅葉の駒ヶ根高原を7910で巡ってみませんか？

グリーンスローモビリティ
電気でゆっくり走るバス
無料 要予約

10/21木 - 11/3水
毎日運行 12:05~16:31 (予約数は変動あり)

菅の台 駒ヶ池 大沼湖 光前寺
約15分 16便/日

菅の台と光前寺の折り返し運行
最速便は約15分 (予約なし) には乗車できません

7910 (グリーンスローモビリティ) とは？
20km/h未満で公道を走る電動車両
今回使用する車両は、屋根が2名用
ポカポカ→遮熱で涼しいので、
外気導入型エアコンもあり、ウレシナ
時代の安心な移動を実現する車です

●乗車定員 8名/便
乗客で乗車できない場合があります

●乗車方法 無料・要予約 (予約)

詳細・予約
予約サイト <https://cubic.com/gsmk>

感染症拡大防止に
ご協力ください

【お問い合わせ】 駒ヶ根市地域公共交通協議会 0265-83-2111

▲ チラシ（観光客向け）

グリーンスローモビリティ
電気でゆっくり走るバス
無料 要予約

10/21木 - 11/3水
毎日運行 12:05~16:31

菅の台 約15分 16便/日 光前寺

菅の台と光前寺の折り返し運行
最速便は約15分 (予約なし) には乗車できません

7910 (グリーンスローモビリティ) とは？
20km/h未満で公道を走る電動車両
今回使用する車両は、屋根が2名用
ポカポカ→遮熱で涼しいので、
外気導入型エアコンもあり、ウレシナ
時代の安心な移動を実現する車です

●乗車定員 8名/便
乗客で乗車できない場合があります

●乗車方法 無料・要予約 (予約)

詳細・予約
予約サイト <https://cubic.com/gsmk>

感染症拡大防止に
ご協力ください

【お問い合わせ】 駒ヶ根市地域公共交通協議会 0265-83-2111

▲ ロープウェイ線バス車内へのポスター

5) 実証調査の成果

(1) 利用者数

運行日14日間の合計で延べ738人の利用があった。1日当たり利用者数は52.7人／日、1便当たり利用者数は3.3人／便であった（日別利用者数の詳細は次頁に示す）。

土日祝の乗車率は75%と比較的高かったものの、平日の乗車率は22%に留まり、平日の乗車率の低さが全体の乗車率を押し下げた。

表 利用者数等（長野県駒ケ根市）

	利用者数	内訳等
延べ利用者数	738人	・ 菅の台発：367人 ・ 光善寺発：371人
1日当たり利用者数	52.7人／日	・ 菅の台発：26.2人／日 ・ 光善寺発：26.5人／日
1便当たり利用者数	3.3人／便	・ 菅の台発：3.3人／便 ・ 光善寺発：3.3人／便

(2) 総走行距離と環境負荷軽減効果

期間中総走行距離は425.6台・kmであり、乗用車との比較によるグリーンスローモビリティ導入に伴うCO2削減効果は89kg-CO2であった。

表 総走行距離と環境負荷軽減効果（長野県駒ケ根市）

期間中総走行距離（回送は含まない）	425.6 台・km
CO2 削減効果（乗用車との比較）	89kg-CO2

【環境負荷軽減効果について】

- ・ 同距離の輸送を小型車量（ガソリン車）で代替した場合との比較によりCO2削減効果を計測。
- ・ グリーンスローモビリティ運行に伴う電力消費に関連するCO2排出量はゼロとして取扱う。
- ・ 小型車両のCO2排出原単位については平均旅行速度20km/hの小型に相当する210g-CO2/km・台として設定した（国土技術政策総合研究所資料 第671号「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成22年度版）」）。

表 利用実績（長野県駒ヶ根市）

【日別・便別利用者数】

単位：人

年月日	曜日	気象条件			乗降者数（※奇数便は菅の台発・偶数便は光前寺発）																
		天気	最高 気温 （℃）	最低 気温 （℃）	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便	14便	15便	16便	日別 計
2021/10/21	木	晴れ	16.1	3.6	8	2	1	8	0	3	1	2	3	1	5	2	0	2	6	8	52
2021/10/22	金	曇り 一時雨	11.6	7.5	4	0	2	0	4	2	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	23
2021/10/23	土	晴れ	17.4	7.3	8	4	5	8	2	0	7	7	6	2	8	4	3	10	4	9	87
2021/10/24	日	晴れ	18.6	2.9	9	8	7	8	7	8	8	9	9	9	8	3	7	4	8	3	115
2021/10/25	月	雨	11.5	8.2	1	6	2	2	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	17
2021/10/26	火	晴れ	20.2	8.7	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	3	0	0	0	0	2	12
2021/10/27	水	晴れ	20.0	8.9	2	2	0	0	0	0	2	2	0	2	2	2	2	0	1	4	21
2021/10/28	木	晴れ	20.8	3.8	5	3	0	2	3	0	0	3	1	4	0	2	6	2	2	0	33
2021/10/29	金	晴れ	17.0	5.1	1	6	0	1	2	0	6	7	0	4	6	1	3	0	3	0	40
2021/10/30	土	晴れ	18.7	3.1	4	7	0	1	6	4	7	6	7	3	8	7	6	4	2	4	76
2021/10/31	日	雨のち 曇り	15.0	8.5	8	6	7	5	7	8	2	8	6	4	4	7	8	2	8	10	100
2021/11/1	月	晴れ	18.7	9.4	3	4	0	5	2	1	4	2	1	4	3	4	0	0	0	0	33
2021/11/2	火	晴れ	20.6	7.3	0	4	0	3	7	0	0	7	0	0	4	1	0	0	0	1	27
2021/11/3	水	晴れ	19.2	5.5	5	8	8	9	5	3	7	5	8	9	2	8	11	4	4	6	102
実証調査期間合計					58	60	32	52	49	29	46	67	44	46	54	42	46	28	38	47	738

(3) 利用者の特性・意向

地域が整理した通常運行便の利用者アンケート結果（回答数：768票）をもとに、利用者特性と評価・意向の概要を以下に整理する。

① 利用者の属性

利用者の年齢は30代、40代が多く、合わせて約5割となっている。

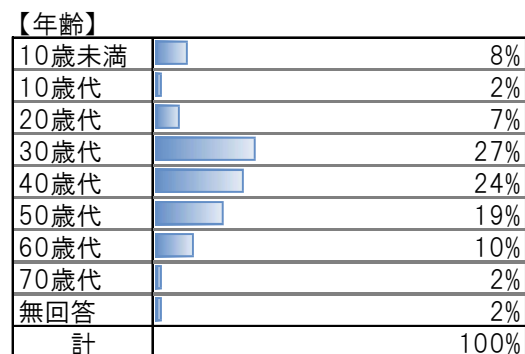


図 利用者の属性（長野県駒ヶ根市）

② 利用理由・訪問目的

利用理由では、「乗り物に興味があった」が66%と最も多く、「グリスロ乗車」を目的に駒ヶ根へ訪問したと回答された方も20%となっている。

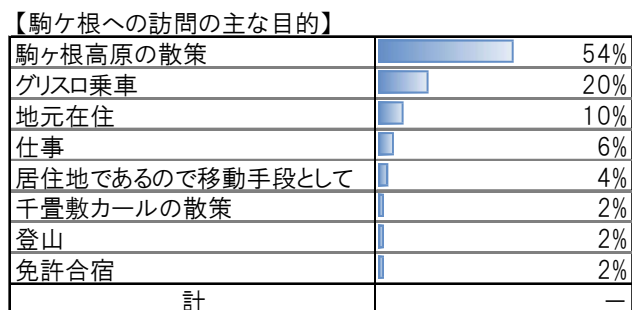
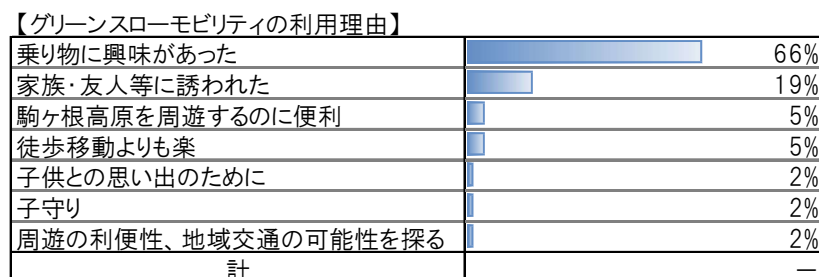


図 利用理由・訪問目的（長野県駒ヶ根市）

③ 普段の交通手段

駒ケ根市への交通手段は94%が自家用車となっている。

【駒ケ根市への交通手段】

自家用車	94%
高速バス	2%
社用車	2%
鉄道	2%
計	—

図 普段の交通手段（長野県駒ケ根市）

④ 利用満足度

グリーンスローモビリティの利用者満足度（移動手段の利便性）をみると、「満足」、「やや満足」を合わせて約5割となっている。

満足	12%
やや満足	37%
普通	39%
やや不満	10%
不満	2%
無回答	0%
計	100%

図 移動手段としての利便性（長野県駒ケ根市）

⑤ 有料となった場合の利用額

有料となった場合の利用意向をみると、「100円」であれば約5割が「利用する」と回答している。

【有料の場合の利用額】

100円	48%
200円	30%
300円	9%
400円	2%
無料	11%
計	100%

図 有料になった場合の利用額（長野県駒ケ根市）

(4) 関係者の評価（効果・課題）

実証調査実施後の関係者ヒアリング結果等をもとに、関係者の評価（効果・課題）の概要を以下に整理する。

① 利用者からみた効果・課題

【効果】

- ・アンケート調査の結果、83%が「グリーンスローモビリティが、駒ヶ根高原内を周遊するきっかけになった」と回答しており、併せて、周遊を促すためにすぐに折り返し便に乗れない運行の仕掛けとしたこともあり、乗客のうち下車して散策された方の割合が平均 82.4%と高く、観光周遊を促す効果があった。
- ・「お子様が喜んだ」「楽しい時間を過ごせた」という感想が多く寄せられ、グリスロ運行がお子様を中心とした家族のお出かけ機会を創出できた。

【課題】

- ・アンケート調査では、グリスロ車両の乗り心地の評価が5段階で最頻値2と比較的評価が低く、意見・要望でも乗降性や、揺れ、音などにネガティブなコメントが多く寄せられていた。
- ・アンケート調査では、「もう少しルートが長いとよい」「午前中の便が欲しい」「観光案内やガイドがあるとよい」などの要望が寄せられた。

② 運行管理者・運転手からみた効果・課題

【効果】

- ・ロープウェイ以外の観光拠点をご存じない観光客が、今回のグリスロ運行によって観光拠点を知っていただく機会を創出でき、今後の観光拠点周遊のきっかけづくりができた。
- ・「グリスロ車両に乗る」「グリスロ車両に乗って景色を楽しむ」「グリスロ車両で移動して観光を楽しむ」といった、グリスロ車両きっかけの誘客効果があった。
- ・お子様のリクエストをきっかけに乗車するお子様連れの家族が比較的多く、公共交通の魅力発信の機会となった。

【課題】

- ・公共交通機関で訪れる観光客は、1次交通（鉄道、高速バス）から2次交通（ロープウェイ線バス）に乗り換えてロープウェイを利用した後、2次交通で「途中下車をすることなく」1次交通に乗り換えてお帰りになるケースが多く、2次交通の停留所からのグリスロ乗り換えが想定以下であった。

さらに、市外からの観光客には、グリスロ運行の情報が届いておらず、併せて、グリスロの停留所を設置した観光拠点の知名度が低く、グリスロによる観光拠点への移動の動機にはなりづらかった。

- ・電池残量表示と航続距離の関係が不明確
- ・安全確認に支障となるサイドミラー位置（フレームやワイパーなどが死角となる）
- ・乗客数が多い場合の下り坂のブレーキの利きが悪い
- ・前後の席で同時にドアを開けると、ドア同士が衝突して危険（ケガ及び車両破損の恐れ）

- ・走行中や停車中に乗客がドアロック解除操作できてしまい危険
- ・低床ではないため子どもやお年寄りを中心に乗降が困難（踏み台がないと乗降できない）

③ 自治体の感想等（地域課題への貢献について）

- ・アンケート調査の結果、83%が「グリーンスローモビリティが、駒ヶ根高原内を周遊するきっかけになった」と回答しており、併せて、乗客のうち下車して散策された方の割合が平均82.4%と高く、グリスロが観光周遊のきっかけを作った。
- ・グリスロを利用した域外からの観光客から、「ロープウェイしか知らなかったが、良い観光拠点を知ることができた」というコメントが寄せられており、グリスロ運行が観光拠点の認知度向上に貢献し、次回以降の観光周遊のきっかけをつくった。
- ・今回のグリスロ運行の停留所付近に宿泊施設や別荘地があり、利用客や長期滞在している方の複数回の利用があった。普段は自動車（宿泊施設の送迎車、自家用車）や徒歩で、買い物や路線バスの停留所へ移動をしているようであるが、グリスロが生活の足としても機能した。
- ・公共交通機関（2次交通であるロープウェイ線バス）で来訪した観光客を、3次交通（グリスロ）により観光地の周遊につなげることが最大の目的であったが、市外の観光客に対するPR不足からか、公共交通機関で来訪した市外からの観光客のグリスロへの乗り換えが想定より進まず課題が残った。
- ・実証地域は中央アルプス国立公園の山麓で自然環境に配慮すべき地域であり、かつ、歩いて観光を楽しむ観光客も多いため、グリスロの性能は当該地域の移動手段として、環境面からは適したものである。

いつも「こまタク」をご利用いただいている方へのお知らせです。

デマンド型乗合タクシー「こまタク」を もっと便利にするための実証実験を行います。



実証実験では、現在運行している
「こまタク」とは別に、
「こまタク特別便」を運行します。



こまタク

と



こまタク特別便

「こまタク特別便」は、電話で予約し利用することができます。また、スマホアプリ等でも予約、利用ができます。

日ごろより、デマンド型乗合タクシー「こまタク」をご利用いただきありがとうございます。今回「こまタク」を更に使いやすいものにしていくために、新しい運行形態での実証実験を実施します。

実証実験では、現在運行している「こまタク」とは別に、「こまタク特別便」を運行します。「こまタク特別便」は、無料で利用できますので気軽にご利用ください。

なお、実証実験期間中も従来の「こまタク」は、通常通り運行いたします。

【こまタク特別便運行期間】

令和4年3月1日(火)～14日(月)

※ こまタク特別便は土・日も運行

予約受付は
2/22から

【こまタク特別便の概要】

タイプ	運行便数	利用料金	運行区間	予約方法
こまタク特別便	1日6便 8時半、9時半、10時半、 11時半、12時半、13時半 ※便の時間(例:9時半)は、 最初の利用者の方をお迎え に行く時間です。目的地に 着く時間は利用者の人数な どによって変わります。	実験期間中は 無料	自宅⇄停留所 + 停留所⇄停留所 (停留所の地区制限なし)	電話 スマホアプリ インターネット
こまタク	1日4便 8時、10時、12時、14時	片道 400円	8時・10時便 自宅→停留所 12時・14時便 停留所→自宅 (停留所の地区制限あり)	電話

※実証実験期間中も従来の「こまタク」は、通常通り運行

こまタクと同様に、事前に予約してからご利用ください（裏面参照）

「こまタク特別便」で利用できる停留所（五十音順）

こまタク特別便は、以下の全ての停留所がご利用いただけます（地区制限なし）。
また、停留所⇄停留所間の移動も可能です。

医療機関

- 秋城医院
- かしの実クリニック
- 木下医院
- 駒ヶ根泌尿器科クリニック
- 座光寺内科医院
- 下平けやき診療所
- 昭和伊南総合病院
- すこやかクリニック
- 須田医院
- 高山内科クリニック
- つちかね整形外科クリニック
- 前澤病院
- 山村眼科整形外科

金融機関・商業施設

- 駒ヶ根郵便局
- JA上伊那駒ヶ根支所（Aコープ）
- JA駒ヶ根東支所
- Aコープ東伊那店
- デリシア駒ヶ根店
- ベルシャイン駒ヶ根店

公共機関等

- 駒ヶ根市役所
- 駒ヶ根市役所中沢支所
- 駒ヶ根市役所東伊那支所
- 駒ヶ根総合文化センター
- JR駒ヶ根駅
- ふれあいセンター



「こまタク特別便」の到着を5分前にお知らせします。

≫ スマホ … メッセージまたは自動音声でお知らせ（どちらかを選べます）
≫ 固定電話・ガラケー … 自動音声でお知らせ

「こまタク特別便」のご利用方法

予約方法（運行日の2週間前から運行の30分前までご予約いただけます）



電話で予約

- 1 **050-3503-4070へお電話ください。**
※従来の「こまタク」の電話番号ではありません。
- 2 「こまタク特別便」を初めて利用されるときは、従来の「こまタク」登録者であることを受付に伝えて利用登録をして下さい。
- 3 出発地・目的地、人数、希望の乗車日時を受付にお伝え下さい。
- 4 乗車日時などを案内しますので、よろしければ予約完了となります。

アプリのダウンロードや予約受付の開始は
2月22日（火）を予定しています。



スマホ・Webで予約

アプリをご利用の方は
「こまタク」で検索し、ダウンロードして下さい。（アプリアイコン）
   こまタク 

- 1 Webをご利用の方は右のQRコードから
予約サイトへアクセスしてください。
<https://booking.koma.cti-mobility.jp/>



- 2 画面の案内に従い、お名前・住所・携帯電話番号・パスワードを登録して下さい。登録後、携帯電話番号とパスワードを入力してログインして下さい。
- 3 出発地・目的地、人数、希望の乗車日時を入力して下さい。
- 4 乗車日時などを確認し、よろしければ予約完了となります。

「こまタク特別便」の実証実験に関する詳細情報はホームページをご覧ください
（会員登録手順、予約手順、乗車手順、その他の留意事項などの詳細を記載しています）

<https://onl.la/qgFc9L8>

■ 実施主体：駒ヶ根市地域公共交通協議会

■ 問合せ先：駒ヶ根市役所 総務部 企画振興課 地域政策係 【TEL】0265-83-2111（内線245）

